

「環境技術」執筆要領（全論文共通）

2004年5月, 2005年6月, 2006年7月, 2007年3月,
2009年3月, 2009年10月, 2011年11月, 2015年1月 改定

「環境技術」への掲載記事は、査読付論文と一般論文の2種類あります。これは、すべての原稿に共通の説明です。査読付論文の詳細については、「査読付論文投稿要領」を参照ください。

1. 投稿資格

査読付論文である〔研究論文〕〔研究ノート〕〔技術報告〕〔調査報告〕は、第一著者が本学会正会員または学生会員である。その他の論文については、執筆者の中に本学会会員を含むこととする。但しいずれの原稿も採否は、編集委員会がこれを決定する。

2. 記事の種類（投稿・依頼原稿のすべてについて）

No.	種類	内容	査読	ページ (本誌面)	掲載料
1	研究論文	独創的で完成度が高い研究内容を含む論文	有	7	必須
2	研究ノート	断片的であるが論文と同等の価値ある内容を含む短報・速報	有	5	必須
3	技術報告	実際的な実験や開発技術の報告（有用なデータと情報を含む）	有	7	必須
4	調査報告	フィールド調査の報告（有用なデータと情報を含む）	有	7	必須
5	総説	研究、技術を総合的にまとめ、識見に富んだ著作物	無	5	
6	論説	提案・意見	無	5	
7	解説	個別の分野についての情報のまとめ	無	5	
8	海外情報	海外の環境技術関連情報	無	5	
9	講座	数回にわたるシリーズ	無	5	

論文（原稿）の種類は、上表の他に、〔行事（会議）報告〕〔書評〕〔ずいろん〕等、各種コラムがあるが、いずれも誌面1,2ページとする。また、広告記事に準ずる〔技術資料〕〔商品ニュース〕等がある。

以下の内容は、上記No.5～9の論文種類についての内容である。No.1～4については、〔査読付き論文投稿要領〕を参照。

3. 「環境技術」誌原稿の書き方・体裁など（但し、(3)以下は、全論文共通）

- (1)原稿の提出について：ウェブサイトより書式をダウンロードして利用できます。
- (2)上記「論文種類」のNo.5～7については、「タイトル」の他に「キーワード」が必要。
タイトル（和文・英文）は30字以内。キーワード（和文）は5個以内。
- (3)文章：簡潔平明で、他分野の読者にも理解しやすい文体を心がける。
項目の分類は、次の例による。
(例) 項1. …… 目1.1. …… 細目1.1.1. …… (1) ……
- (4)文字（原則として、明朝体）
 - a. 原則として当用漢字、平仮名（現代かなづかい）、アラビア数字（数量を表す）を用いる。
 - b. ローマ字、ギリシャ文字は誤植のないよう正しく書く。大文字、小文字の区別がわかりにくいものは、その別を明らかにしローマ字とギリシャ文字の別を明らかにする。単位は、SI単位を原則とする。
- (5)数式：数式は、式(1) …… とし、重要なものだけを数学の約束に従い、簡単な形で、正確な表現で書く。
- (6)図・表：図表や写真の点数は必要最小限とする。減らすようお願いする場合もある。
 - a. 図表のキャプション・文字は日本語、明朝体とする。査読論文は、和英どちらも可。
 - b. キャプションを付す。説明（最大100字）など図表中の文字は明朝体とする。

- c. 同一内容の図と表がある場合は、どちらか一方で表示する.
- d. 図表はモノクロで判別できること. 背景色を無色とする.
- e. 図の目盛線の間隔は、できるだけ簡潔にする.
- f. 写真はモノクロとし、解像度が高く鮮明であること.
- g. 図・表・写真の説明は、次のようにする.

(例) 図 1 …… 表 1 …… 写真 1 ……

※書体はゴシック体.

(7)参考文献は下記の書式に従う.

- a. 論文の場合……

著者名；論文名，掲載誌名，巻数，（号数），p. 初めのページ-終わりのページ，発行年.

(例) 藤川陽子；大阪-京都の地下水の水質問題と処理方策—色度，アンモニア等，環境技術，
46, (5), p.26-33, 2017.

※巻 (Vol.) 数はゴシック体. 号 (No.) 数は () で囲む.

- b. 図書の場合……

著者名；図書名，出版社名，総ページ数 p., 発行年.

(例) 金子光美；水道の来し方行く末，環境技術学会，160p., 2009.

※総ページは，ページ数の後に「p.」を入れる.

- c. ウェブサイトの場合……

著者名；“ウェブページの題名”，ウェブサイトの名称，入手先，（参照日付）.

※入手先は，該当ページの URL を記入する.

(例) 大塚泰介；“R による珪藻群集の分析”，環境技術学会，<http://www.jriet.net/magazine/2017/diatomanalysis.html>，（参照 2017-11-1）.

4. カラー印刷

カラー印刷費用を自己負担して，カラー印刷にすることができる.

5. 著作権

著作権は本学会に帰属し，著作者が利用する場合，第一著者から事前に本会へ許可申請を行う. 第三者からの複製，転載許諾申請に対し，公益的利用については，学会が許諾することがある.

また，本会は，複製権（PDF）と公衆送信権（ウェブ公開）の使用についても許諾権を有するものとする.

6. 別刷り料金（査読付論文以外，消費税は外税.）

本文ページ数	25 部	50 部	100 部
5 - 6 頁	15,000 円	20,000 円	24,000 円
7 - 8 頁	17,500 円	25,000 円	28,000 円

(注意)

- ・査読付論文の掲載料については，「査読付論文投稿要領」を参照.
- ・特集部分をまとめる，連載をまとめるなどのスタイルで別刷り作成もできます.